



心も体も元気な岡村っ子

おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより

R5.12.25

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>



繭玉

校長 川村 真弘



初春の令月にして、気淑く風和ぐ。梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫すと、万葉集が詠う景色に、令和6年の新春を重ね、「令和」の語源を改めて味読する。

皆様と一緒に新春を慶び、学校の屋上から望む稜線クリアな名峰富士に今年も健やかで穏やかな毎日をと、祈る。美しく神々しい富士の景色

に見惚れ、厳かな気持ちで令和6年も「心も体も元気な岡村っ子」に育ってほしいと願い、多幸を重ねて祈る。

私の幼かった頃の正月は故郷の風習で「繭玉飾り」が神棚の前にあった。柳、梅、桑、榎などの枝に繭玉を付け、五穀豊穰、商売繁盛を祈るともされるが、穏やかな気持ちで1年を過ごせるようにと、白と桃色の淡い色彩の繭玉が祝ってくれたように思う。

繭に似せた装飾品が木の枝に取り付けられ、縁起物の飾りが華やかに彩る。Xmas飾りのような煌びやかさこそないが、柔らかい和風の風情もよいものだ。それもまた一興である。

全ての皆様が穏やかに1年を過ごせますように僭越ながら祈念いたします。



1月10日は学校の誕生日。61歳誕生日を子どもたちとお祝いします。校長室に掲げられている「開校宣言」には昭和38年1月10日、当地域の発展に即応し、磯子区岡村町687番地に横浜市立岡村小学校を開校すると記されています。令和6年1月10日本校は61歳を迎えます。地域の皆様に支えられ、歴史を重ね、伝統を築いて参りました。今後とも地域に威風堂々、凜と建てる学校であるよう精進して参ります。

横浜市立岡村小学校教職員一同

